

2018 年 1 月 25 日  
早稲田大学ふくしま広野 RC 事務局

## 第 1 回ふくしま学(楽)会プログラム (詳細バージョン)

日 時：2018 年 1 月 28 日（日）13:00～18:00

会 場：早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター

福島県広野町二つ沼公園内パークギャラリー

[http://www.town.hirono.fukushima.jp/kikaku/futatsunuma\\_sougoukouen.html](http://www.town.hirono.fukushima.jp/kikaku/futatsunuma_sougoukouen.html)

参加費：無料、どなたでも参加いただけます。

主 催：早稲田大学環境総合研究センター・ふくしま広野未来創造リサーチセンター、ふくしま学（楽）  
会実行委員会、早稲田大学レジリエンス研究所（WRRI）

共 催：福島県広野町

（敬称略）

### 13:00 開会

司会：小松和真

開会宣言：松岡俊二（早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長） 5 分  
遠藤 智（広野町長） 5 分

挨 拶：柳沼英樹（福島県教育委員会県立高校改革室・室長） 各 5 分  
双葉 8 町村  
黒田浩司（経産省福島新産業・雇用創出推進室・室長）  
代理 勝野真輝（係長）

基調講演：松岡俊二（早稲田大学国際学術院アジア太平洋研究科・教授） 10 分

### 13:30 テーマ1 今、福島から世界へ伝えたいこと（ひと、もの、ことの交流）

司会：永井祐二

#### 提案 1 高校生から

◇ ふたば未来学園高校・三橋グループ 10 分  
高校生が同世代に伝えたいこと、高校生が案内する視察ツアーの提案

#### 提案 2 地域団体から 各 5～7 分

◇ 根本賢仁（広野わいわい PJ・理事町）  
地域でのイベントを通じた賑わい・生業づくりの取り組み  
◇ 島村守彦（おてんと SUN 企業組合）  
現地視察ツアーや地域参加イベントの取り組み

#### 提案 3 行政・大学から 各 5～7 分

◇ 大手信人（京都大学大学院情報学研究科・教授）  
市民参加型の森林手入れの可能性  
◇ 石田弘枝（福島県企画調整部文化スポーツ局生涯学習課・主幹兼副課長）  
アーカイブ施設構想および地域参加の可能性  
◇ 双葉 8 町村など  
各自治体における同種の取り組みと連携可能性

### 会場ディスカッション

20～30 分

14:30 休 憩

14:40 テーマ2 今、福島について知りたいこと(原子力災害への対応など)

司会：磯辺吉彦

提案1 高校生から

◇ ふたば未来学園高校・遠藤グループ

10分

原子力災害への対応などを調査した中で、知らなければならぬと感じたこと

提案2 地域団体から

各5～7分

◇ 菅波香織（未来会議）

今後の廃炉に向けて、市民が知っておかなければいけない問題について

◇ 福島 裕（いわき四倉・農家）

市民参加型農業を通じて風評被害を考える

提案3 行政・大学から

各5～7分

◇ 森口祐一（東京大学大学院工学系研究科・教授）

今後の対応において予想されるリスクや国際社会の対応など

◇ 中津弘文（広野町復興企画課・課長）

広野町における諸問題をふまえた新しいまちづくりについて

◇ 双葉8町村

周辺地域における

◇ 行政からの発言

会場ディスカッション

20～30分

15:40 パネルディスカッション

コーディネーター：松岡俊二

テーマ1、2をより深掘りする総合討論

討論の内容は当日変化すると思われますが、以下の議論を想定

- 世代を越えた枠組みでの取り組みの重要性
- 構想や提案から実践へと、さまざまな主体が協力していく必要性
- 国や県など行政の方針と市民・高校生の取り組みを繋げる方法

17:00 みんなで懇親会

司会・進行：小松和真・永井祐二

◇ 5グループぐらいに分かれて車座をやります。

18:00 頃 終了

※当日配布資料のある方は、1/25（木）までに永井さんへファイルをお送りください。当日報告PPTはUSBで持参ください。

連絡先：0240-27-1251 広野町復興企画課：小松、03-5292-3526 早稲田大学環境総合研究センター：永井  
jyuten-fukkou@list.waseda.jp 早稲田大学レジリエンス研究所（李、吉田、Yao）